

秋の火災予防運動が始まります



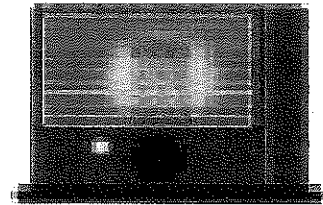
全国统一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年10月15日(日)～令和5年10月31日(火)まで秋の火災予防運動を実施します。肌寒くなってきましたので、すでにストーブを使用している家庭もあるのではないのでしょうか。札幌市では昨年、ストーブが原因による火災が19件発生し、5名の方がお亡くなりになっております。ストーブを安全に使うために、使用前に点検しましょう。

ストーブを安全に使うためのポイント

- ① カーテンや、布団、紙類など燃えやすいものをそばに置かない。
- ② 給油する際は、火を消して、熱いうちに行わない。
- ③ ストーブの上に洗濯物などを干さない。
- ④ 温風の当たる場所にスプレー缶を置かない。
- ⑤ 灯油ストーブにガソリンを給油しない。
- ⑥ 古くなって変色した灯油などを使用しない。



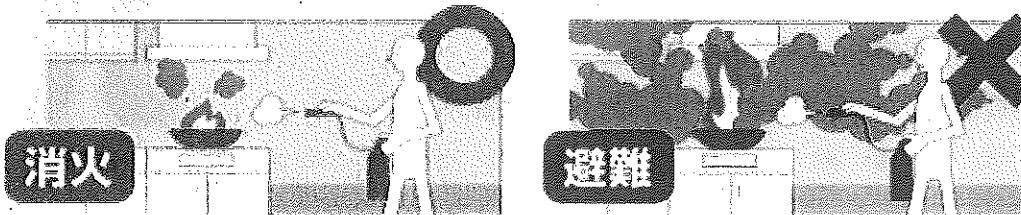
火災から身を守るために

火災で発生する煙には、一酸化炭素が含まれており、一酸化炭素を含んだ空気を吸うと、一瞬で意識を失い死に至ることもあり大変危険です。

火災の発生に対し、初期消火はとても重要ですが、消火を行うべきか、避難するべきかの判断を誤ると危険が伴います。状況に応じた適切な判断を行いましょう。

←「命」のターニングポイント→

火災の第一発見者として初期消火を試みるあなた。判断次第では、命を落としてしまう場合があります。あなたの命を守るため、ご家族が悲しまないためにも「消火or避難」のターニングポイントをお伝えします！



ターニング
ポイント

- ① 火が天井付近まである場合は危険です！
- ② 煙が充満している場合は危険です！
- ③ 熱を強く感じた場合は危険です！

1つでも当てはまったら
すぐに避難して

119番

自動消火装置設置費助成

札幌市では65歳以上の高齢者のみで構成される世帯に、自動消火装置の設置費用を助成しています。

この機会に設置を検討してみたいかがでしょうか。

助成対象

市内居住の65歳以上の高齢者のみで構成される世帯

助成限度

1世帯につき2台まで
(こんろ、ストーブへの設置を想定)

助成額

自動消火装置の購入・設置に要した費用の9割を助成します。

ただし、1台あたり28,700円を助成限度額とし、超過分は全額自己負担となります。

※札幌市東区に在住(仮)等居住区画決定済みの世帯に、における自動消火装置の設置費助成と関係

助成額と申請者の自己負担額

① 購入・設置費が40,000円の場合

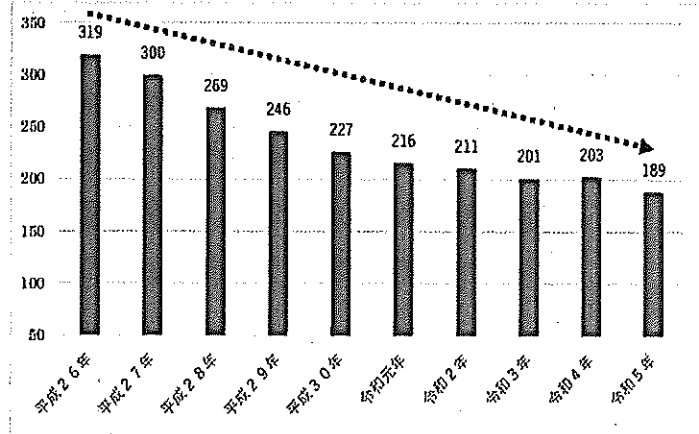
自己負担 4,000円 助成額 28,700円 自己負担 7,300円

② 購入・設置費が40,000円未満の場合

自己負担 0円 助成額 購入・設置費 自己負担 0円

上半期の火災発生件数

札幌市内の令和5年度の火災件数は189件で、平成26年から10年間で見ると、減少傾向で、昨年と比較して14件減少になりました。



火災を防ぎましょう!

令和5年9月1日現在、東区で発生した火災は32件、そのうち放火による火災は7件で出火原因の1位となっております。

🔗 放火されにくい環境作りのポイント

- ① 家の周囲には燃えやすいものを置かない。
- ② ごみは決められた日の朝に出す。
- ③ 物置や車庫には鍵をかける。
- ④ 共同住宅の廊下や階段室には物を置かない



発行元

札幌市東消防署予防課防火推進係
札幌市東区北24条東17丁目1番
電話 011-781-2100

SAPPORO



02・N06・23・1840

R5・2・1198